至誠館大学

ID: 1412

科目名	教育実習Ⅰ 【26年度生用】			コード	
英語表記					
担当教員名	吉村　高男・福田　みのり			年度	平成26年度
基準年次	4年次	開講期	前期	単位数	2
授業形態	講義・演習	授業形式		履修形態	選択必修

授業概要

実習担当教員の指導を受けながら、教員に必要な基盤となる知識・技能・態度を習得する。特に、教科指導や生徒指導等の教職実践を通して、生徒への理解と人間尊重の精神及び教員としての使命観を形成すると同時に、専門的な指導力を習得する。教育実習を通して、学習指導案の作成や教材研究の要点を確認する。

到達目標

教育実習は、教科・学習指導等の実習を通して実践的な指導力を身につけるとともに、学級経営、生徒指導、進路指導、教育相談、部活動等の教育活動全体を通して生徒理解を深めたり、学校運営や教員の職務実態に触れたりすることを目的としている。学習指導案の作成と授業実践、教材研究の要点などを確認することも重要なテーマと言える。

授業計画

第1回	大学が実施する「教育実習事前ガイダンス」
第2回	実習校が実施する「実習オリエンテーション」
第3回	学校長へのあいさつと自己紹介、担当教員との打ち合わせ
第4回	校長講話、担当教員による事前指導
第5回	配属学級での自己紹介と授業参観
第6回	特別活動、総合的な学習の時間での授業参観
第7回	専門教科の授業参観(1)授業内容・展開の確認
第8回	専門教科の授業参観(2)授業指導法の確認
第9回	専門教科の授業参観(3)教材研究の確認
第10回	他教科の授業参観(1)授業内容・展開の確認
第11回	他教科の授業参観(2)授業指導法の確認
第12回	他教科の授業参観(3)教材研究の確認
第13回	授業実践のための教材研究、学習指導案の作成
第14回	授業実践
第15回	授業実践の反省、考察

評価方法と基準

実習校における成績評価を踏まえ、総合的に判断して評価を出す。

評価項目と割合(%)

出席	授業態度	レポート	期末試験	その他
		50	50	

授業外学習

課題・レポート

テキスト、教材

教科書は使用しない。参考図書を、随時紹介する。

参考書

適切な資料を配付する。

受講生へのメッセージ

教員になるために重要な科目です。気合いを入れて頑張りましょう！

キーワード

教育実習、学級経営、進路指導、教材研究、研究授業